

2番 原田 靖 議員

1 人口減少と高齢社会について

- (1) 2040年には、人口減少が急激に進むと同時に、多くの地域が少子化と高齢化率40%を超える超高齢社会が本格化する。
 - ① 今後、放棄された土地・家屋が所有者不明となって周辺環境へ悪影響を及ぼすことが懸念される。空き地、空き家対策について現状と今後の取組について示されたい。
 - ② 地域が抱える課題について、モデル地域（例えば高齢化率40%以上）を設定し、将来を見据えた施策を検証しながら総合的に取り組んでいく考えはないか。
 - ③ 介護費、医療費など社会保障給付費がますます増え財政に大きな影響を与えている。今後の推移と取組を示されたい。
 - ④ 人口減少が進行する中、特に若者の人口流出を抑え、若者が定着するまちづくりを重点に取り組むべきである。そのためには、労働環境（特に賃金）が安定した、中でも高度な知識やスキルを身につけた人の雇用の場の創出が重要と思うが、今後、そのような特化した企業誘致や地元企業の育成をどのように図っていくか。

2 道路行政について

- (1) 都市計画道路として決定している札元打馬線が事業化に至っていないが、次善の策として王子橋を起点とする道路改良に取り組む考えはないか。
- (2) 道路標示が不明瞭な箇所が見受けられ交通安全上支障をきたしている。早急に調査を実施し、改善できないか。